

に不利な状況になります。どうしても本
来の補償の原則に帰って問題を片づけな
ければ、力関係では問題が解決できない
点があります。

この漁業補償が片づかないといまの
ころ工場建設について県と会社との本
協定を結ぶことは困難なようございま
す。それかといって県民や議会の皆さん
方の、有明製鉄はどうなるのだという一
種の不安、をそのまま放つておくわけ
には参りませんので、既定方針を確認し
不安を解消するため、三月六日に覚え書
きの調印をいたしました。

私は現地漁業組合の方もよくこうした
実情を熟知していただいて、工場誘致の
前提条件である漁業補償がいずれ妥当な
ところで、解決するよう念願いたしてお
ります。

八代臨海の場合

漁業補償の話がでましたので、ついで
に八代臨海工業地帯の補償について少し
触れますと、八代の場合は約三十三万
坪、補償額は五千七百三十万円で解決し
ました。

鶴崎の補償額は坪当たり約一千万円です
が、八代はその五分の一以下で話し合いが
つきました。漁場としての価値がウエイ
トをもつことは勿論ですが、補償費が安
い、とそれだけ工場がきやすいというこ
とは申し上げるまでもないところであり
ます。

工場誘致は百年の大計で

三月県会中にある議員さんから、いま

というのが私どもの基本的な考えでござ
います。

県経済の現状において成績のあがらな
い子供もなにかもひつくるめて一〇〇
％入学させて、それを県民全体で面倒を
みていかなければならないというのは、
決して進歩的な考え方ではあるまいと存
じます。

なやみは同じ……

終戦ツ子の進学問題

実はこの問題は高校生急増対策につ
いて国庫補助が全くないという点から政治
問題になっているのですが、先日の日米
知事会議で、アメリカの事情をきいたの
に対して、アメリカ側の知事が、「いまア
メリカでも議論の最中だ。ケネディの連
邦政府に対して州立の大学や高校に補助
金を出せ、補助金を出さないなら新しい
財源を与えよと交渉しているが、なか
か結論が出ない」と答えていました。ア
メリカも日本と同じように、終戦ツ子
の進学問題には頭をなやませている事情
が明らかになりました。

終戦——復員の結果として一時にどつ
と沢山の子供ができたのであるから、こ
れは終戦処理の一環だ、政府も責任の一
半を背負つてなんとか面倒をみてほしい
と、全国知事会で何回か政府に交渉しま
したが、仲々要求を認めず、やつと学校
をつくる場合に起債を認めるといっただけ
におちつきません。

のようなあんばいではお前が知事をや
っている間には工場ができないぞ、とい
うお叱りがございましたが、私の任期中に
工場ができて煙が出るかでないかとい
うことは第二義的なことで、問題は熊本
百年の大計から見ると、どうして工場誘
致を実現するかということだと思つてい
る次第でございます。

有明海には砂鉄が工業化されるに必要
なだけあるのです。鉄鋼は多少の起伏はあ
つても年々需要がのびてきております。
今後長い目で見るべき鉄の需要は上
昇の一途をたどるものと思われるのだか
ら、失望することなく、せいぜいこの努
力を傾けたいと念願しております。

前途有望の工業化

菊池川も総合開発

工場を誘致するためには工場用水につ
いても配慮せねばなりません。菊池川の
総合開発の調査費も建設省が認めて、今
年からやろうということに決定してあり
ます。

菊池川の総合開発が進み、有明製鉄が
でき、臨海工業地帯が軌道にのれば、南
に八代臨海工業地帯、北に有明臨海工業
地帯と、熊本を中心に南北三十キロ以内
の地域に二大工業地帯ができ上るわけ
です。

熊本県の工業化促進の前途は非常に有
望なものになりつつあると確信してい
る次第でございます。

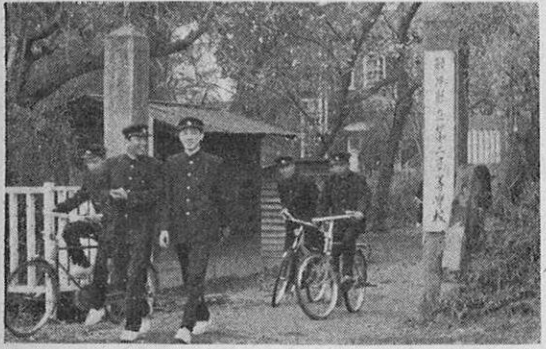
すみやかに急増対策を

私どもとしては、昭和十九年に生まれ
た子供も、二十年、二十一年に生まれ
た子供も、同じ率で九割入学の線にはも
つていこうということで、予算措置をと
っているわけです。

そのため、熊本県では、昨年度から水
俣に工業高校を、また今年から熊本城内
に第二高校をつくり、その上に十二学級
をふやして対策としました。

来年は全体として五十四学級の増加要
請が出ておりますので、また何校か何学
級かをふやさねばならないと考えてあり
ます。

高校生急増対策の予算が熊本県は全国
最低だということで議論が行われていま
すが、私はこれについては、金をうんと使



人づくりに

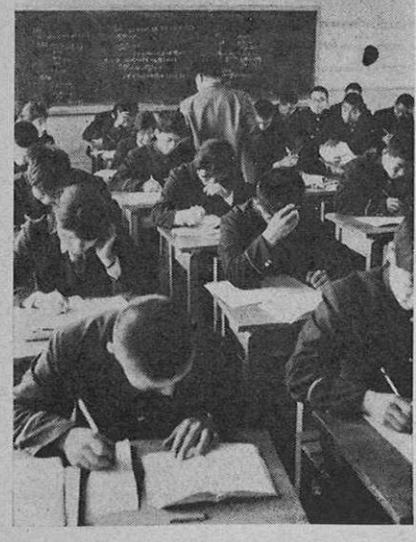
農業の近代化、工業化の促進とあわせ
て、忘れてならないものに次代を担う人
たちの「人づくり」の問題があります。

急増する中学卒

人づくりで先ず取りあげねばならない
のに中学卒の急増があります。中学卒業
者は三十五年三万八千人、三十六年二万
九千人、三十七年四万三千人、来年三
十八年は五万人、三十九年は五万一千人
とピークとなる計算になります。そして
下降線をえがき四十五年に三万七千人と
三十五年の線にもどることになります。

今年も九割入学へ(高校)

これをいつも三十六年(去年)でいいど
には高等学校に入学させてあげたい。こ
ういう考えで進んでおります。世間には
よく志願さえすれば全
員入学できるようなす
べきだという人があり
ますが、高等学校の全
員入学は、高知県の川
村知事がやつたことが
ありました。結果は
あまり香しくなく、現
在では高知県でもやは
り競争試験の制度に復
帰しているということ
です。



女子大に給食実習室を

また栄養士資格取得のための、集団給
食実習室および食品加工室の新築、学寮
の新築費など、女子大学に千八百万円を
計上したりいたしまして、多角的な人づ
くりの相当な経費を組みこんでおりま
す。

総合的な県民センターを

社会福祉会館、母子会館、婦人会館、
青年会館、あるいは県立体育館などの要
望が各方面からしきりに高まつておりま
したが、これに対して、私は従来、県庁
舎新築の機会に考慮することにしましよ
うと、その都度そうお答えしておきま
したが、各方面の要望は次第に盛りあがり
をみせ、どうしても断わりきれない段階
にきましたので、総合利用施設を新設す
ることにして、一億四千四百万円を新し
く組みました。

このほか、消防学校新設に二千五百万
円も計上しております。
これらはいずれも、県内の人づくりに
お役に立つことと考えます。

天草架橋いよいよ着工

夢のかけ橋と呼ばれて、長い間の懸案
だった天草架橋が、いよいよ今年から着
工されることになりました。
すでに三角町に建設事務所も店びらき
して、所長さんも着任しておられ、遠か

らざ盛大な起工式を行なう話もできてお
ります。(注・起工式は七月三日に決定)
昭和四十年には完成
いまのところ総工費が二十五億九千万